

平成 25 年度事業計画

JAQG の目的及び活動方針は以下のとおりである。

I JAQG の目的

JAQG は、品質の著しい改善とコストの削減を実現するため世界の航空宇宙業界と共に活動を進める。

- (1) サプライチェーン全般に渡って品質向上につながる施策の実施
- (2) サプライチェーンへの要求事項の標準化による無駄の排除

II JAQG 活動方針について (JAQG 中長期戦略については第 4 号議案参照)

今後の JAQG 戦略と方向性概要を以下に示す。

- (1) IAQG 活動に対応した JAQG 活動の国内展開、IAQG へのフィードバック
- (2) JAQG 独自の活動戦略策定の強化及び検討した固有の要求事項等の IAQG/APAQG への提言

III 重点活動

平成 25 年度の重点活動を以下に示す。

- (1) 「強固な品質マネジメントシステム構築」ガイダンス文書完成並びに国内外への展開
- (2) 9104-1 (航空宇宙品質マネジメントシステムの認定プログラムに対する要求) の運用支援
- (3) 要員能力検討ワーキンググループ設立並びに活動推進

以上を踏まえ、平成 25 年度事業として以下の具体的活動を行う。

1 IAQG 関連活動

- (1) IAQG が主催するサプライヤ総会・評議会等への参加・課題の展開

品質に関する世界共通規格の制定、世界の品質に関する動向の把握、国内外のサプライヤからの要望の聴取等を実施するとともに、日本の意見を IAQG に提言する。平成 25 年度は、以下のとおり計画する。

- 1) IAQG 会議 (サプライヤ総会・評議会)
 - ・モスクワ会議 (H25/5/20-24)
 - ・モントリオール会議 (H25/10/7-11 予定)
- 2) IAQG 戦略会議 (IAQG 会議と同時開催含め年 4 回予定)
- 3) IAQG Space Forum (IAQG 会議と同時開催含め年 2 回予定)
- 4) IAQG 規格要求関連会議 (IAQG 会議と同時開催含め年 2 回予定)
- 5) 9100 改正チーム会議 (IAQG 会議と同時開催含め年 2~4 回予定)
- 6) 9101 改正チーム会議 (IAQG 会議と同時開催含め年 2~4 回予定)
- 7) 9102 改正チーム会議 (IAQG 会議と同時開催含め年 2~4 回予定)
- 8) 9104-2、9104-3 改正チーム会議 (IAQG 会議と同時開催含め年 2~4 回予定)

- 9) IAQG SCMH 関連会議（IAQG 会議と同時開催含め年 2 回予定）
- 10) IAQG 要員能力関連会議（IAQG 会議と同時開催含め年 2 回予定）
- 11) IAQG OPMT 関連会議（IAQG 会議と同時開催含め年 2～3 回予定）

(2) APAQG(Asia-Pacific Aerospace Quality Group)活動

JAQG は、IAQG/APAQG の課題に対して APAQG をリードするとともに JAQG の意見を APAQG につなげる。また、そのために APAQG と連携し定期的に会議を開催する。APAQG 各国内における関係強化推進、及び 9100 認証並びに IAQG/APAQG 活動の普及促進を図っていくために、ホスト国のステークホルダー（防衛当局/航空当局/宇宙当局）及びサプライヤを招くことを計画する。

平成 25 年度は 9 月頃(場所:シンガポール)と平成 26 年 3 月頃(場所:中国)の 2 回の開催を予定している。

2 JAQG 関連活動

(1) 運営委員会の開催

SJAC 定款及び JAQG 設置運用規則に別に定めるもののほか、JAQG の運営に関する重要事項を議決する。(H25/5/8 予定)

戦略検討委員会より提言される JAQG 戦略方針等を審議する。

(2) 戦略検討委員会の活動（第 4 号議案参照）

JAQG 中長期戦略に従って戦略検討委員会及び各ワーキンググループ活動を推進していく。さらに、平成 24 年度に引き続き、航空宇宙業界における強固な品質マネジメントシステム構築の検討を推進する。

(3) 幹事会の開催

運営委員会で承認された事業計画に基づき、JAQG 活動の進捗を管理するとともに、JAQG の運営に関する重要事項の審議を定期的に行う。必要に応じ、IAQG の戦略課題に基づく JAQG としての具体的対応方針の検討や JAQG の各ワーキンググループ及び JRMC の連携強化を図る。

(4) JAQG 活動報告会/説明会の開催

平成 25 年度の IAQG/APAQG/JAQG 活動の状況報告として JAQG 会員を対象とした活動報告会を開催する。(平成 25 年度下期に開催予定) また、JAQG 活動説明会は、平成 25 年上期に開催の予定。

(5) ステークホルダー向け JAQG 活動報告会の開催

JAQG 活動へのご理解とご支援をいただくため、昨年度に引き続き、ステークホルダー（経済産業省殿、国土交通省航空局殿、防衛省殿、宇宙航空研究開発機構殿）を対象に JAQG の活動状況の報告を実施する（平成 25 年度下期に開催予定）。また、必要の都度、ステークホルダー個別に報告及び意見交換を行う。

(6) ワーキンググループ活動

各ワーキンググループの活動計画を以下に示す。

1) 規格検討ワーキンググループ

航空、宇宙及び防衛分野の組織に適用可能な品質マネジメントシステムに関する規格を制定・維持し、また国内への普及を図るため、主に以下の活動を推進する。

- ・ IAQG で作成される規格の制定／改正活動に参加し、JAQG としての意見を積極的に具申するとともに、対応する日本語版の SJAC 規格を適宜制定／改正する。(9101、9102 他) また、9100 認証制度の運営・管理に関する SJAC 規格については、JRMC との連携を図り制定／改正する。
- ・ 昨年度から開始された 9100:2016 次期改正活動については、IAQG の改正活動に合わせた対応を継続する。
- ・ JIS Q 9100 規格及び SJAC 9101 規格に関連する、IAQG で作成される展開支援文書類（ガイダンスマテリアル、FAQ 等）の国内版資料の作成・維持を継続する。
- ・ 強固な QMS 構築活動の検討結果に基づき、JIS Q 9100 規格に対する追加事項を補足文書としてまとめ、国内において発行する。
- ・ IAQG 規格（9101、9104-2 等）の様式取扱い変更への対応を含め、国内規格の制定／改正に関する仕様の明確化を図る。
- ・ QMS の要求事項／プロセスに係わる有用な JAQG 独自規格についての検討を継続する。
- ・ 平成 25 年度内に SJAC 規格の電子出版ができるよう推進する。

2) 特殊工程検討ワーキンググループ

特殊工程の国際認定制度(Nadcap)の日本国内への有益な展開を図るため、JAQG 会員メンバーの認証取得及び維持活動を支援する。

- ・ AC チェックリスト日英対訳の JAQG ウェブでの公開を推進する。
- ・ Nadcap の理事会 (PRI Board of Director) へ JAQG メンバーを派遣する。
- ・ PRI-Nadcap に対し Nadcap 監査に関する意見提言活動を実施する。
- ・ 平成 26 年度に開催予定の Nadcap シンポジウム (PRI 日本事務所主催) について、必要により支援を行う。

3) ウェブ検討ワーキンググループ

JAQG 入会推進と会員サービス向上のため、

- ・ JAQG 活動説明会アンケートなどを JAQG 活動の改善にフィードバックする。
- ・ JAQG メンバーウェブサイトを維持し、「JAQG ニュース」やウェブの内容の的確な更新を通じて IAQG/JAQG 活動の最新情報をタイムリーに提供する。また、必要に応じウェブサイトの機能強化・改善を行う。

4) スペースフォーラム

宇宙産業界へ JIS Q 9100 及び関連規格を展開し、品質改善とコスト低減を図るため、

- ・ 主要企業及びサプライヤなどの JIS Q 9100 認証取得を推進する。
- ・ IAQG スペースフォーラム活動と連携をとり、ベストプラクティスの共有化などを図るべく、国内及びアジア・太平洋セクターでの活動を推進する。また、9100:2016 改正について業界の要望・意見を集約し、スペースフォーラムとしての提案を行っていく。
- ・ 宇宙航空研究開発機構殿が品質要求として 9100 を適用することへ支援していく。

5) SCMH ワーキンググループ

平成 24 年度に引き続き IAQG で開発された SCMH(Supply Chain Management Handbook) 資料の国内適用・展開の促進を中心に以下の活動を実施する。

- ① 既存 SCMH アイテムの検討/和訳版の作成
平成 24 年度に引き続き優先度の高い SCMH アイテムについて順次和訳版資料作成を実施し、JAQG 会員専用ウェブへ掲載する。
- ② 関連する規格の和訳版（SJAC 規格）の発行
平成 24 年度から繰越となった 9136（Root Cause Analysis and Problem Solving）について SJAC 規格を発行する。
- ③ IAQG SCMH 活動への参画
IAQG SCMH 活動について IAQG 会議時に開催されるチーム会議等に参加し、情報収集とともに必要に応じて開発アイテムに対する意見具申を行う。
- ④ 強固な品質マネジメントシステム構築
平成 24 年度より作成を開始したガイダンス文書について国内版を発行する。

6) 要員能力検討ワーキンググループ

IAQG において力量管理、ヒューマンファクターに関する活動が具体化してきているため、これに対応する国内活動の立ち上げとして、JAQG 内に要員能力検討ワーキンググループを設立する。

今年度は、引き続き IAQG「要員能力」改善戦略活動に参加しながら、国内活動として Human Factors ガイダンス文書（翻訳版）の発行、BoK(Body of Knowledge: 必要とされる知識体系)関連文書（翻訳版）の発行等を行う。

3 JIS Q 9100 認証制度の運営・管理

JIS Q 9100 の認証基準の整備を行うとともに認証制度の維持管理活動を着実に実施する。

(1) 認証基準 9104-1 の運用支援

航空宇宙品質マネジメントシステム規格認証基準である 9104-1（日本では SJAC 9104-1）への移行について、関係機関（認定機関、品質マネジメントシステム認証機関、審査員資格証明機関、研修提供者承認機関）の移行作業が移行期限である 7 月までに完了する予定であることから、今後、各認証組織に対する審査への適用が具体化することに伴い、滞りなく認証作業を進められるように、課題発生時の迅速な対応等の運用上の支援を行う。

(2) IAQG OPMT 活動への参画

航空宇宙品質マネジメントシステム規格の認証制度の世界的な標準化を推進している、IAQG OPMT 会議の他、IAQG OPMT にて見直しを進めている、IAQG 9104-2（オーバーサイト基準）、9104-3（審査員資格及び研修コース基準）や 9101（審査要求事項）について、検討の進捗状況に合わせてステークホルダーからの意見も積極的に集約し、JPMC としての検討を十分に行うとともに、対面会議や電話会議を通じて各活動に積極的に参加する。

また、5 月及び 10 月の IAQG 会議時に行われるオーバーサイトにて他セクターの認証制度評価等を実施する。

(3) 認定機関、品質マネジメントシステム認証機関、審査員資格証明機関及び研修提供者承認機関に対する定期サーベイランスの実施

認証基準（SJAC9104-1 等）に基づき、認定機関（日本適合性認定協会：JAB）に対する定期サーベイランスを実施するとともに、合同審査チームメンバー（業界監査員）として JAB による品質マネジメントシステム認証機関に対する、定期サーベイランス（事務所審査及び組織審査）等に参加し、認定機関及び品質マネジメントシステム認証機関が認証基準（SJAC9104-1 等）の要求事項に適合していることを確認する。また、審査員資格証明機関及び研修提供者承認機関に対する定期サーベイランスを実施し、審査員資格証明機関及び研修提供者承認機関が認証基準（SJAC9104-1 等）の要求事項に適合していることを確認する。

(4) 航空宇宙（産業経験）審査員の登録/更新申請者に対する評価の追認

認証基準（SJAC 9104-1 等）に基づき、航空宇宙審査員及び航空宇宙産業経験審査員の登録/更新申請者について審査員資格証明機関による評価結果を追認する。

(5) 航空宇宙審査登録管理委員会（JPMC）会議の開催

JIS Q 9100 の認証基準である SJAC 9104-1/-2/-3 及び SJAC 9101 等の基準改正の検討、IAQG OPMT 会議の結果報告、認証制度の運用上の問題点に関する討議等を実施するため、必要に応じ各関係機関にも参加を要請し、JPMC 会議を開催する。

（メンバー会議：年 10 回、拡大会議：年 3 回を予定）

(6) ワークショップの開催

平成 25 年度改正版が発行される予定の 9101 規格（日本では SJAC 9101）について、滞りなく適用を開始できるように主に認証機関の審査員を対象としたワークショップの開催を検討し、改正内容の理解を深めることを図る。

* 平成 25 年度 JAQG 活動主要項目と日程を次頁に示す。

平成25年度JAQG主要活動項目と日程

主 要 項 目		平成25年					平成26年					備 考	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅰ JAQG 関連活動	1. サブライヤー総会・評議会への参画 IAQG会議 IAQG戦略会議 SCMH会議 9100会議 9101会議 9102会議 9104-1/-2/-3検討会議 PRI会議		☆IAQGMoscow会議(5/20～5/24) ▽9100会議 ▽9101会議	▽9100会議 ▽9101会議	☆IAQGモントリオール会議(10/6～) ▽戦略会議	▽戦略会議 ▽SCMH会議	▽9102会議 ▽9104-2/-3検討会	▽9100会議	◇モントリオール ▽和訳版発行(適宜)			▽SCMH会議	
			◇パリ										
			JIS Q 9100 ガイダンス文書検討(IAQG活動と連携)										
			9100/2016改正検討(IAQG活動と連携)										
			9101ガイダンス文書検討(IAQG活動と連携)										
			9101 改正検討(IAQG活動と連携)										
			▽発行										
			9104-2/-3 検討(IAQG活動と連携)										
			9115ガイダンス文書検討(IAQG活動と連携)										
			9102 改正検討(IAQG活動と連携)										
			9102 改正検討(IAQG活動と連携)										
			9102 改正検討(IAQG活動と連携)										
			9102 改正検討(IAQG活動と連携)										
			9102 改正検討(IAQG活動と連携)										
			9102 改正検討(IAQG活動と連携)										
Ⅱ JAQG 関連活動	2. 規格類の検討・制定												
Ⅲ JIS Q 9100 審査登録制度 の運営管理 (JPRMC)	1. 審査登録制度の整備 審査登録制度 の運営管理 (JPRMC)												